2026年11月13日

各 位

会 社 名 冨 士 ダ イ ス 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 津 田 雅 宣
（コード番号：6167 プライム市場）
問 合 せ 先 取締役業務本部長 髙 安 真 生
（TEL. 03-3759-7182）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年８月７日に公表いたしました2027年３月期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたこと、及び当該実績値を踏まえて2027年３月期通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	11,200	930	960	670	34.22
実績値（B）	11,328	1,776	1,812	1,271	64.90
増減額（B-A）	128	846	852	601	
増減率（%）	1.1	91.0	88.8	89.7	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	8,417	322	306	196	9.88

２．2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	24,400	840	920	620	31.67
今回発表予想（B）	24,600	2,380	2,440	1,640	83.73
増減額（B-A）	200	1,680	1,520	1,020	
増減率（%）	0.8	183.3	165.2	164.5	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	17,446	822	883	573	29.03

３．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想修正の理由

当中間連結会計期間の連結売上高につきましては、原材料の高騰を受けて価格改定を行った結果、売上高は概ね前回発表予想どおりとなりました。一方、費用面につきましては、原材料価格は足元で高止まりしておりますが、原価計算に総平均法を採用していることから当中間連結会計期間における会計上の製造原価への影響が抑え

られていることに加え、その影響が前回発表予想時よりも緩やかに推移したこと、及び修繕費等の費用が想定を下回ったことから、前回発表予想を上回る結果となりました。

通期の連結売上高につきましては、高騰している原材料の価格転嫁による国内市場における販売数量の減少は前回発表予想と同程度と見込んでおりますが、海外市場における販売数量が想定を上回る見込みであること、遅れていた国内の価格改定が反映される見込みであることから、下期の連結売上高は上期に比べて増収を見込んでおります。費用面につきましては、高止まりする原材料価格の影響は前回発表予想時の想定よりも緩やかに推移すると見込んでおります。一方、下期以降にその影響が製造原価へ本格的に反映されることに加え、修繕費等の費用発生が上期を上回る見込みです。また、下期の原材料調達に関する施策の効果などについては現時点では不透明なため業績予想には織り込まず保守的に算定していることから、下期の各段階利益は上期に比べ大幅な減益を見込んでおります。

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

※本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　上